評議員選出方法について（提案）

評議員

現状（会則）

第11条

1. 評議員は、同期の会員を代表し、同期との連絡に当たるほか、評議員会を組織し、会の業務の執行に協力する。
2. 評議員は、各卒業年次の期より選出する。

新たな評議員選出方法の必要性

従来、評議員は卒業時に同期の中から選出されてきた。しかし年が経つにつれ、期によっては評議員と連絡を取ること自体が困難になってきている。そのため評議員が同窓会の動きを同期に知らせる等の役割を果たすことが困難になってきており、その対応策が必要となってきている。

選出方法の修正（付加）

会長が会員ら等の情報をもとに新たに評議員の指名、依頼を行うことを可能とし、受諾して頂ければその人が新たに評議員に加わり活動できるものとする。

対応

導入可能な期から進めていく。